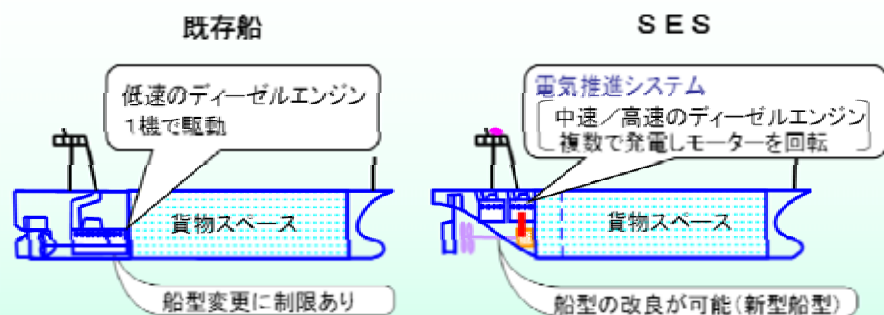


スーパーエコシップについて

- スーパーエコシップ(SES)は、電気推進システムを採用し、二酸化炭素や窒素酸化物の削減及び燃費の削減に資する優れた環境性能と経済性を有する次世代内航船舶。
- SESの普及促進を図るため、平成17年度より、(独)鉄道・運輸機構の船舶共有建造制度を活用した支援を実施。

SESの特長



中速/高速のディーゼルエンジン複数を使用した電気推進システムを採用これにより、

- ・小型発電機の配置上の工夫により船型がスリム化され、水の抵抗が減ることで燃費改善
- ・電気システムの採用で省エネ効果の高い特殊なプロペラ(二重反転プロペラ)の搭載が容易化
- ・大型エンジンの小型化により、スペースが増大し船員の居住性改善。静音度も向上
- ・主機関の複数化により、1機のエンジン故障による運航停止リスクが低下等の効果

海上運転にて、予想を上回る効果を実証

- ・CO₂排出量 約20%削減
- ・NO_x排出量 約40%削減
- ・燃料消費 約20%削減

SES普及支援

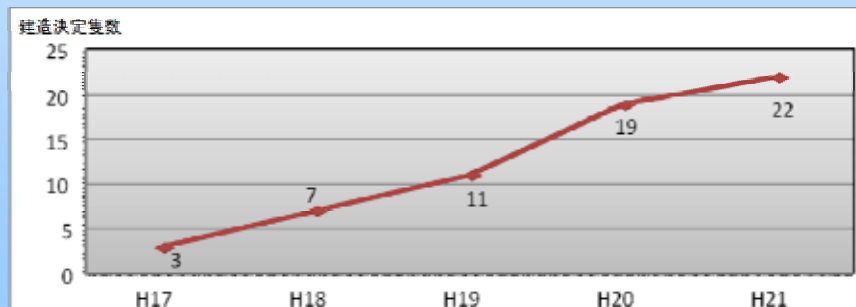
(支援内容)

- ・17年度から21年度において、共有期間(貨物船の場合14~15年)を通じた船舶使用料の軽減を実施
 - ・17年度から20年度においては一般会計出資金の運用益を用いて、船価上昇分の3分の2相当の船舶使用料を軽減
 - ・21年度においては一般会計出資金の運用益を用いて、船舶使用料に係る金利から0.8%を軽減
 - ・22年度においては船舶使用料に係る金利から0.8%軽減を行う
- ・設計段階から運航管理に至る専門技術的サポート

(SESの普及状況)

- ・平成17年度に3隻を建造し、現在就航中
- ・平成18年度に4隻を建造し、現在就航中
- ・平成19年度に4隻を建造決定し、うち3隻が就航中
- ・平成20年度に8隻を建造決定し、うち4隻が就航中
- ・平成21年度に3隻を建造決定。

スーパーエコシップの建造決定数の推移(累計)

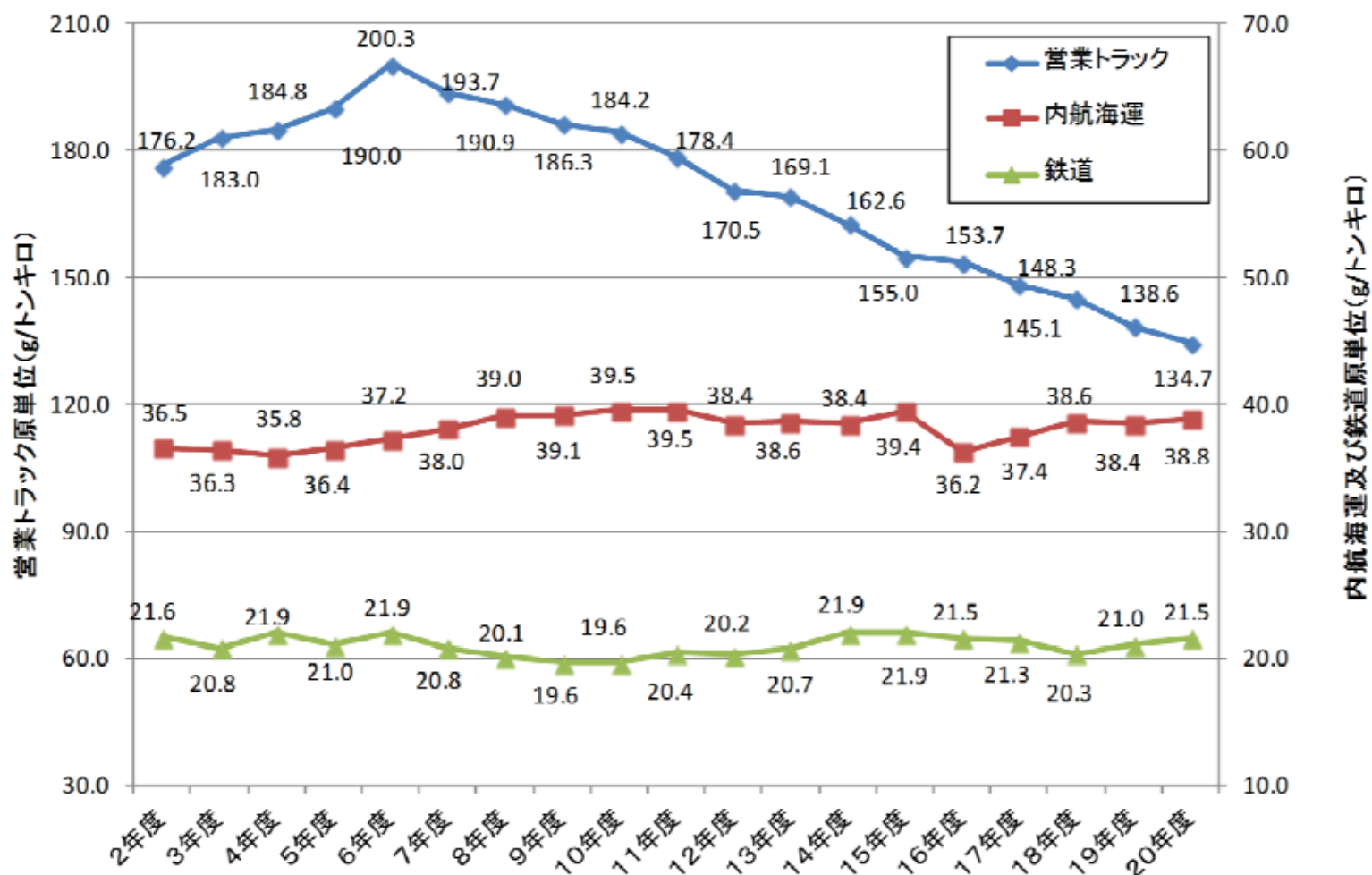


スーパーエコシップについて

	「船名」	船種 (船型)	評決スケジュール	備考		「船名」	船種 (船型)	評決スケジュール	備考
1	「みやじま丸」	旅客フェリー (254GT)	H17.11 進水 H18.1 竣工		11	「海光丸」	セメント専用船 (749GT)	H22.1 進水 H22.3 竣工	
2	「新南丸」	貨物船兼タンカー (492GT)	H18.12 進水 H19.2 竣工		12	「東甲丸」	白ヒタンカー (749GT)	H22.1 進水 H22.4 竣工	
3	「第五日光丸」	ケミカルタンカー (499GT)	H19.3 進水 H19.5 竣工		13	「第五豊晃丸」	ケミカルタンカー (499GT)	H22.4 進水 H22.6 竣工	
4	「なでしこ丸」	白油タンカー (749GT)	H19.9 進水 H19.11 竣工		14	「鶴洋丸」	セメント専用船 (749GT)	H22.4 進水 H22.7 竣工	
5	「国勝丸」	ケミカルタンカー (1066GT)	H20.6 進水 H20.6 竣工		15	「興山丸」	セメント専用船 (15,000GT)	H22.4 進水 H22.8 竣工	
6	「のじぎく」	ケミカルタンカー (499GT)	H20.10 進水 H21.1 竣工		16	「第十いづみ丸」	LPG船 (749GT)	H22.7 進水 H22.10 竣工	
7	「女鷹」	セメント専用船 (749GT)	H21.1 進水 H21.4 竣工		17	「バシフィック プリーズ」	セメント専用船 (5,700GT)	H22.7 進水 H22.11 竣工	
8	「第三ほうりん」	ケミカルタンカー (499GT)	H21.2 進水 H21.5 竣工		18	「桜島丸」	旅客フェリー (1,200GT)	H22.11 進水 H23.2 竣工	
9	「豊和丸」	ケミカルタンカー (499GT)	H21.7 進水 H21.10 竣工		19	「北翔丸」	一般貨物船 (4,675GT)	H22.11 進水 H23.2 竣工	
10	「ろっこう」	ケミカルタンカー (499GT)	H21.10 進水 H21.12 竣工						

排出原単位の推移

営業用トラックの排出原単位は年々改善しており、対平成6年～平成20年で約33%改善しているが、船舶の排出原単位はほぼ横ばい、またはやや悪化している。



国土交通省「内航船舶輸送統計」「自動車輸送統計」「鉄道輸送統計調査」、(独)国立環境研究所「日本の温室効果ガス排出量データ」より作成